

(2) 環境交通

〈ごみ対策、環境対策、公共交通、防犯・交通安全〉

マニフェスト

新エネルギー導入助成事業

環境交通部 環境対策課

TEL 76-1181

- 1 予算額 60,500千円
- 2 目的 新エネルギーを利用したシステムを設置する方に対し補助金を交付し、市民の環境にやさしいエネルギーの利用を支援します。
- 3 効果 循環型社会の構築及び地球温暖化防止に向けて、市民意識の高揚を図ることができます。
- 4 事業概要 住宅用太陽光発電システム、住宅用太陽熱高度利用システムの設置費を補助します。

○住宅用太陽光発電システム(補助額1kW当たり4万円・上限16万円):対象者 375人

太陽の光エネルギーを受け、太陽電池で発電します。

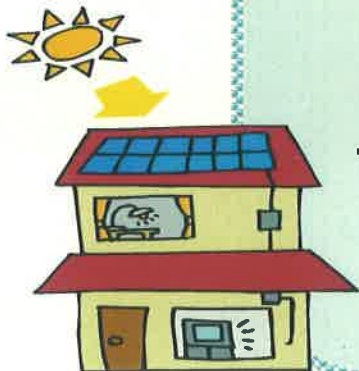
○住宅用太陽熱高度利用システム:対象者 15人

・強制循環型(補助額6万円)

太陽熱集熱器と蓄熱槽を分離し、その間を不凍液などの熱媒が入った配管でつなぎ、この熱媒をポンプで強制的に循環させながら、蓄熱槽内に貯めた水を温め、お湯を作ります。

・自然循環型(補助額2万円)

太陽熱集熱器の上部に貯湯槽が接続されており、水栓に比べ高い位置の屋根上に設置します。貯湯槽に給水された水は下部の太陽熱集熱器へ流れ込み、太陽熱で暖められ比重が軽くなることで、貯湯槽へ戻りお湯が蓄えられます。



小牧市環境キャラクター
エコマン



新規

クリーンセンター施設整備事業

- 1 事業年度 平成25年度～平成26年度
- 2 予算額 257,634千円
- 3 目的 市内で発生するし尿及びし尿浄化槽汚泥を適切に処理します。
- 4 事業概要

現在、市内で収集されたし尿は東田中地内のクリーンセンターで、し尿浄化槽汚泥は小木地内のし尿浄化槽汚泥処理施設で、それぞれ処理を行っています。

し尿浄化槽汚泥処理施設は、稼動開始から34年以上経過し、老朽化が進み維持費が増大してきています。このため、この機能をクリーンセンターに統合し、より効率的にし尿やし尿浄化槽汚泥の処理を行うため、クリーンセンターの改修を行います。

【今後の予定】

平成25年度 改修工事

平成26年度 改修工事



マニフェスト・拡充

防犯対策事業

- 1 予算額 117,200千円
- 2 目的 地域、市民参加の防犯対策を進め、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。
- 3 効果 地域の防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪が起きにくい環境整備ができます。
- 4 事業概要

拡充 防犯対策巡回警備委託 21,000千円

年間を通して警備会社に委託し、青色回転灯装着車により市内の深夜パトロールを行います。



防犯灯設置事業費補助金 20,000千円

区が設置する防犯灯設置費を**全額補助**します。

防犯灯維持管理費補助金 52,000千円

電気料金、修繕費とも**全額補助**します。



拡充

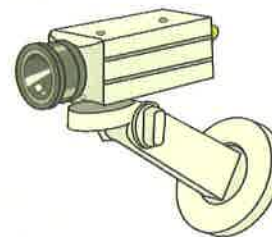
防犯カメラ設置費補助金 10,000千円

商業施設の駐車場・駐輪場に加え、新たにマンション・アパートの駐車場、月極駐車場において、防犯カメラ・録画機の設置に対して助成します。

★補助限度額 **費用の5分の4**

- ・防犯カメラ1台当たり **上限 8万円**
 - ・録画機1台当たり **上限 20万円**
- ※最高限度額 **50万円**

防犯カメラ作動中!



安全安心まちづくり活動補助金 11,200千円

安全で安心して暮らせるまちづくりのために、地域で、防犯パトロールなどの活動をしている団体(10名以上で組織されるもの)に対して支援します。

★補助限度額 ・新規団体 **上限 20万円** ・継続団体 **上限 10万円**

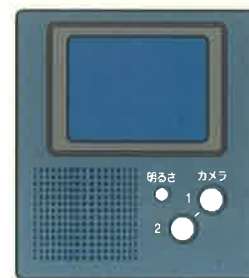
※自動車を利用する場合は**上限 30万円**



防犯対策補助金 3,000千円

家庭で行う防犯対策(防犯鍵、センサーライト、防犯フィルム、防犯カメラ等)に助成します。

★補助限度額 **費用の5分の4 限度額1世帯当たり1万円**



マニフェスト・拡充

公共交通利用促進事業

- 1 予算額 61,035千円
- 2 目的 人にも環境にも優しい「交通先進都市こまき」の実現に向け、円滑な移動手段の確保による快適な住環境や都市機能の充実を目的とした交通網の充実を図るため、公共交通の利用を促進します。
- 3 効果 公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和などを図ります。
- 4 事業概要



〈新規〉デマンド交通実証実験運行委託

タクシーとバスの中間的な乗り物で、予約制の公共交通であるデマンド交通について、東部地区及び北部地区において実証実験運行を実施します。

22,557千円

〈新規〉デマンド交通実証実験検証・巡回バス再編計画検討委託

デマンド交通の実証実験を通して本格導入に向けた調査・検討を行うとともに、巡回バスの運行ルート及びダイヤの再編について検討します。

23,500千円

バス運行対策費補助金

本市にとって重要な東西公共交通軸の桃花台⇄小牧駅間の公共交通機関を維持するため、運行しているピーチバスの乗合バス事業者に運行対策費補助を交付し、交通手段の確保を図ります。

7,000千円

マニフェスト

こまき巡回バス運行事業

- 1 予算額 140,700千円
- 2 目的 交通空白地域へのモビリティ向上、公共施設へのアクセス確保のため、巡回バスを運行します。
- 3 効果 公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和などを図ります。
また、65歳以上の利用は無料であるため、高齢者による交通事故の減少にも効果があります。
- 4 事業概要 市内8コースを8台で運行します。
・料金 大人200円／1日
小人100円／1日
※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添い者1名、65歳以上の高齢者の方は無料です。

